

「第3次三重県生涯学習振興基本計画」

～みえまなび絆プラン～（概要版）



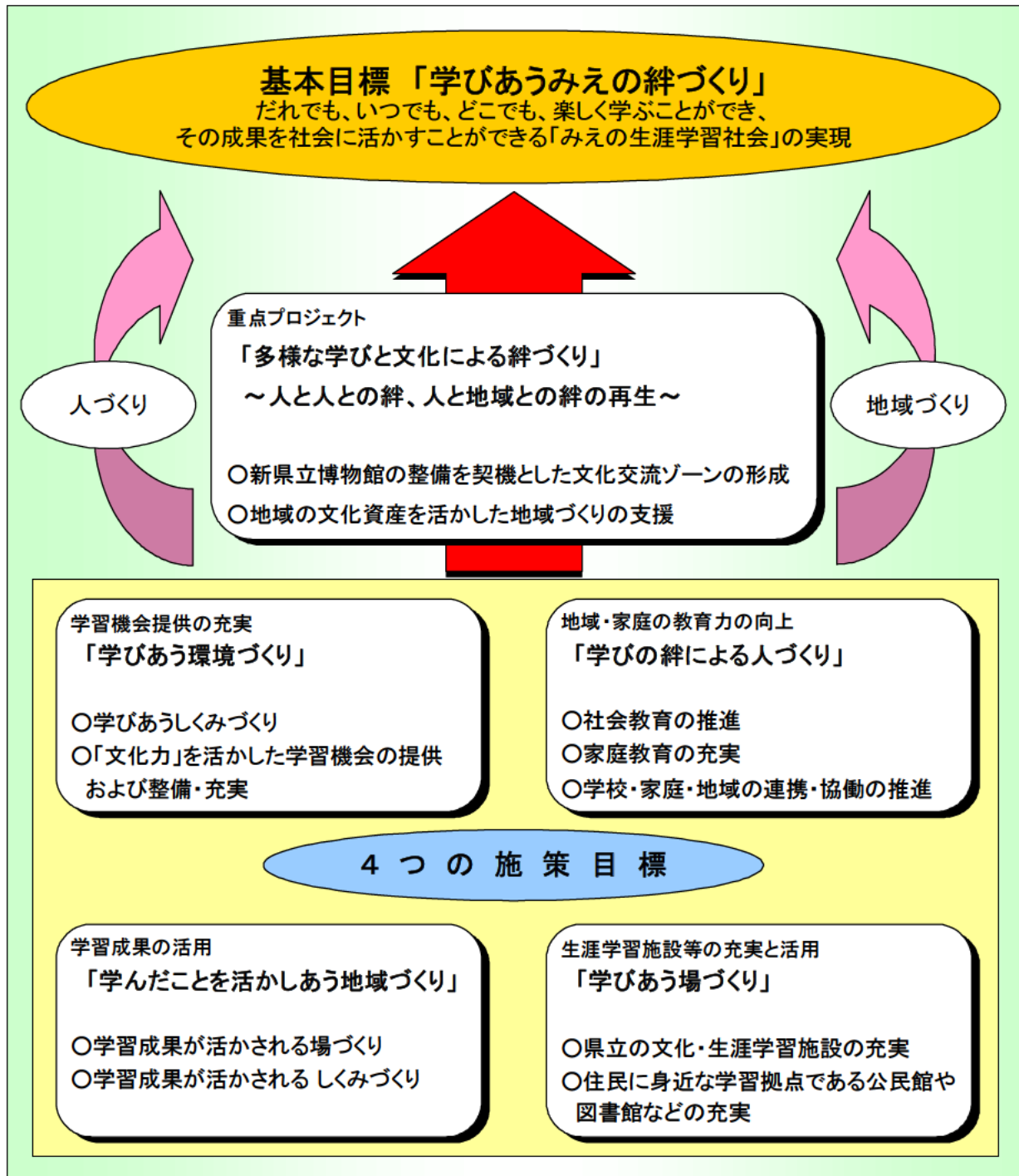
平成23年3月

三 重 県

第3次三重県生涯学習振興基本計画

だれでも、いつでも、どこでも楽しく学ぶことができ、その成果を社会に活かすことができる「みえの生涯学習社会」の実現をめざすため、県民と行政が協働して総合的な取組を進めます。

また、「学び」とおした人と人との絆、人と地域との絆を再生する「学びあうみえの絆づくり」をめざし、文化振興施策と連携をはかりながら、次の4つの施策目標と重点プロジェクトを設定し、本県の生涯学習を推進します。



○生涯学習推進にあたっての基本的な考え方

(1) 趣旨

これまでの「第2次三重県生涯学習振興基本計画」の理念を基本的に継承しつつ、本県における生涯学習を振興する上での新たな課題等に対応するため、「第3次三重県生涯学習振興基本計画」を策定しました。

(2) 性格

本計画は、県民の一人ひとりが生涯を通じて学習を継続し、生きがいのある生活を送り、だれでも、いつでも、どこでも興味や必要に応じて楽しく学ぶことができ、学んだ成果を社会で活かすことができる生涯学習社会をめざした、県民と行政の協働による総合的な取組を進めるための行動計画とします。

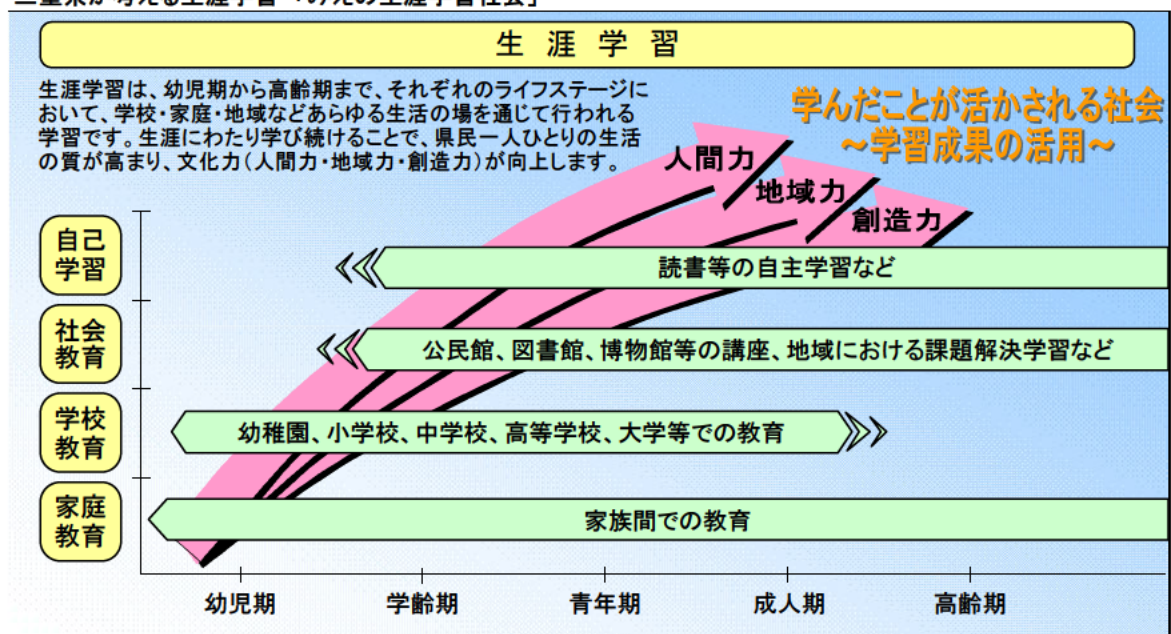
(3) 期間

本計画期間は、平成23年度から平成26年度までの4年間とし、施策の成果を評価し、必要に応じて見直しを行います。

(4) 計画策定における基本的な視点

生涯にわたり学び続けることは、「文化力」の基礎となるものであり、現代社会に生きるすべての人びとにとって欠かすことのできないものです。県民一人ひとりの生活の質を高め、文化力（人間力・地域力・創造力）の向上をめざすとともに、地域住民、市町など多様な主体の参画を前提に、県はどのような役割を果たすべきかという視点から生涯学習振興の事業に取り組みます。

三重県が考える生涯学習「みえの生涯学習社会」



○基本目標「学びあうみえの絆づくり」

だれでも、いつでも、どこでも楽しく学ぶことができ、その成果を社会に活かすことができる「みえの生涯学習社会」の実現をめざすため、県民と行政が協働して総合的な取組を進めます。

また、「学び」をとおした人と人との絆、人と地域との絆を再生する「学びあうみえの絆づくり」をめざし文化振興施策と連携をはかりながら、本県の生涯学習を推進します。

○施策目標

① 学習機会の提供の充実「学びあう環境づくり」

- 全庁的な生涯学習振興施策の推進や多様な主体との連携による学習機会の提供など、学びあう環境づくりを進めます。
- 生涯学習に関する情報提供の充実や、多様なニーズに対応する学習プログラム開発のための調査研究などを行い、学習活動を始めるきっかけづくりや参加しやすくするための環境づくりを進めます。

目標項目	現状 (平成 21 年度)	平成 26 年度の 目標値
生涯学習情報提供システムへのアクセス数	226,633件	230,000件

※さまざまな主体が提供する学習機会や、さまざまな分野の講師情報などを蓄積し、発信している三重県生涯学習センターが管理する生涯学習情報提供システムへのアクセス数

② 地域・家庭の教育力の向上「学びの絆による人づくり」

- 地域の教育力の向上をはかるため、社会教育に携わる人や組織が交流し、互いに学びあう場を構築します。
- 学校・家庭・地域の多様な主体と連携・協働して、子どもや子育てに関する情報の提供・共有を積極的に行うとともに、親同士が相互に交流しながら学び、相談しあえる機会の拡大、定着に向けた人材育成などに取り組みます。
- 社会全体の教育力の向上をはかるため、学校・家庭・地域が連携・協働しながら、子どもの居場所づくりや指導者等の養成など、地域で子どもを育むための環境づくりを進めます。

目標項目	現状 (平成 21 年度)	平成 26 年度の 目標値
社会教育指導者の育成講座への参加者数	462人	550人

※地域の教育力を高める役割を担う社会教育主事や社会教育委員等の指導者を対象として実施する人材育成講座の参加者数

③ 学習成果の活用「学んだことを活かして地域づくり」

- 学習成果を地域で活かそうとする県民と行政が協働し、新たな成果活用の場の創出を進めます。
- ボランティアやNPO団体等の活動やネットワークづくりを支援し、地域の「人間力」を活かした生涯学習によるまちづくりを進めます。

目標項目	現状 (平成23年1月末時点)	平成26年度の 目標値
生涯学習情報提供システムへの講師登録件数	345人	400人

※さまざまな主体が提供する学習機会や、さまざまな分野の講師情報などを蓄積し、発信している三重県生涯学習情報提供システムへの講師登録件数

④ 生涯学習施設等の充実と活用「学びあう場づくり」

- 県立の文化・生涯学習施設が「文化と知的探求の拠点*」としての機能を充実し、連携を強化するとともに、公民館などの身近な学習環境の充実・活用を支援します。
- 新県立博物館の整備をふまえ、多様化・高度化する県民の学習ニーズや知的探求心を満たす学びあう場となるよう、三重県総合文化センター周辺の各施設が、これまで蓄積したノウハウやネットワーク等を充実させ、それぞれの機能を高めます。

目標項目	現状 (平成21年度)	平成26年度の 目標値
県立生涯学習施設の年間利用者数	644,490人	930,000人

※県立の図書館、博物館、美術館、斎宮歴史博物館、熊野少年自然の家、鈴鹿青少年センター、生涯学習センターの年間利用者数（移動展示・講座、シンポジウム等を含む）

※平成26年に新県立博物館が開館した場合の利用者数やその影響などによる各施設の利用者数の増加を見込んでいます

※県立の生涯学習施設には、この他に三重県文化会館や県営スポーツ施設などがありますが、特に県の施策の中で社会教育施設としての役割が大きい施設の利用者数を目標項目として設定しています

みんな 楽しく
学びませんか



○重点プロジェクト「多様な学びと文化による絆づくり」

基本計画期間である4年間の重点的な取組を「生涯学習振興の重点プロジェクト」と設定し、学びと文化によるまちづくりを進め、人と人との絆、人と地域との絆の再生をはかります。

目標項目	現状 (平成21年度)	平成26年度の 目標値
県立文化・生涯学習施設の利用者数	1,418,580人	1,604,000人

※県立の図書館、博物館、美術館、斎宮歴史博物館、熊野少年自然の家、鈴鹿青少年センター、総合文化センターの年間利用者数（移動展示・講座等、平成26年に開館予定の新県立博物館の入場者数を含む）

① 新県立博物館の整備を契機とした文化交流ゾーン*の形成

三重県総合文化センター隣接地に新県立博物館を整備することにより、学びと文化の拠点となる施設が集まります。これら周辺地域を一体的な文化交流ゾーンとして位置づけ、その集積を活かして発展させることにより、県民が地域の自然や歴史的・文化的資産等を掘り起こし、その魅力について学び、活用できる環境をさらに充実強化します。

(主な取組)

- 文化交流ゾーンの形成に向け、各施設が所蔵する資料の総合的な情報発信や活用、各施設の特徴を活かした魅力的なプログラムの提供など連携した取組を一体的に行います。
- 三重の自然と歴史・文化を保全・継承し、三重の人づくり、地域づくりに貢献する新県立博物館の開館に向けて、県民とともに調査研究、収集保存、活用発信等の博物館活動や運営のしくみ等を構築し、施設整備を進めます。
- 三重県総合文化センターと新県立博物館を結ぶ連絡ブリッジの設置など、利用者の利便性向上に向けた環境整備を行います。

文化交流ゾーンのめざす姿

三重県総合文化センター周辺は、「県民の学び・体験・交流を支える場」として、本県の文化・芸術・自然・歴史など多様で魅力ある素材が満ちあふれた空間になります。

すべての県民に情報を提供・発信し、子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に訪れることができ、出会いや交流を通じて、新たな発見、さらなる学習意欲が引き出され、何度でも訪れたいくなる場の形成をめざすものです。

地域の文化資産を活かした地域づくりの支援

県民が、地域の語り部や専門家をはじめ多様な主体と連携・協働しながら、地域の資産を活用した地域づくりに取り組むことを促進し、人から人、人から地域へと活動の輪を広げることにより、弱まってきた人と人との絆、人と地域との絆の再生をはかります。

(主な取組)

地域住民が主体となった取組をより活性化・定着化させるため、県内各地域に残る街道等の歴史的・文化的資産を活かしたまちづくり活動を支援します。

県内各地域における「まちかど博物館*」との連絡調整や情報提供など各館を側面的に支援するとともに各館と連携・協働した取組を実施します。

地域住民が地域の資産を再認識し、愛着や誇りを持って、これからの地域づくりに取り組めるよう、地元の多様な主体と連携しながら地域の資産を活用した取組を行うとともに、史跡齋宮跡がサイトミュージアム*（史跡博物館）として地域学習に活用されるよう、史跡東部を中心とした整備を進めます。

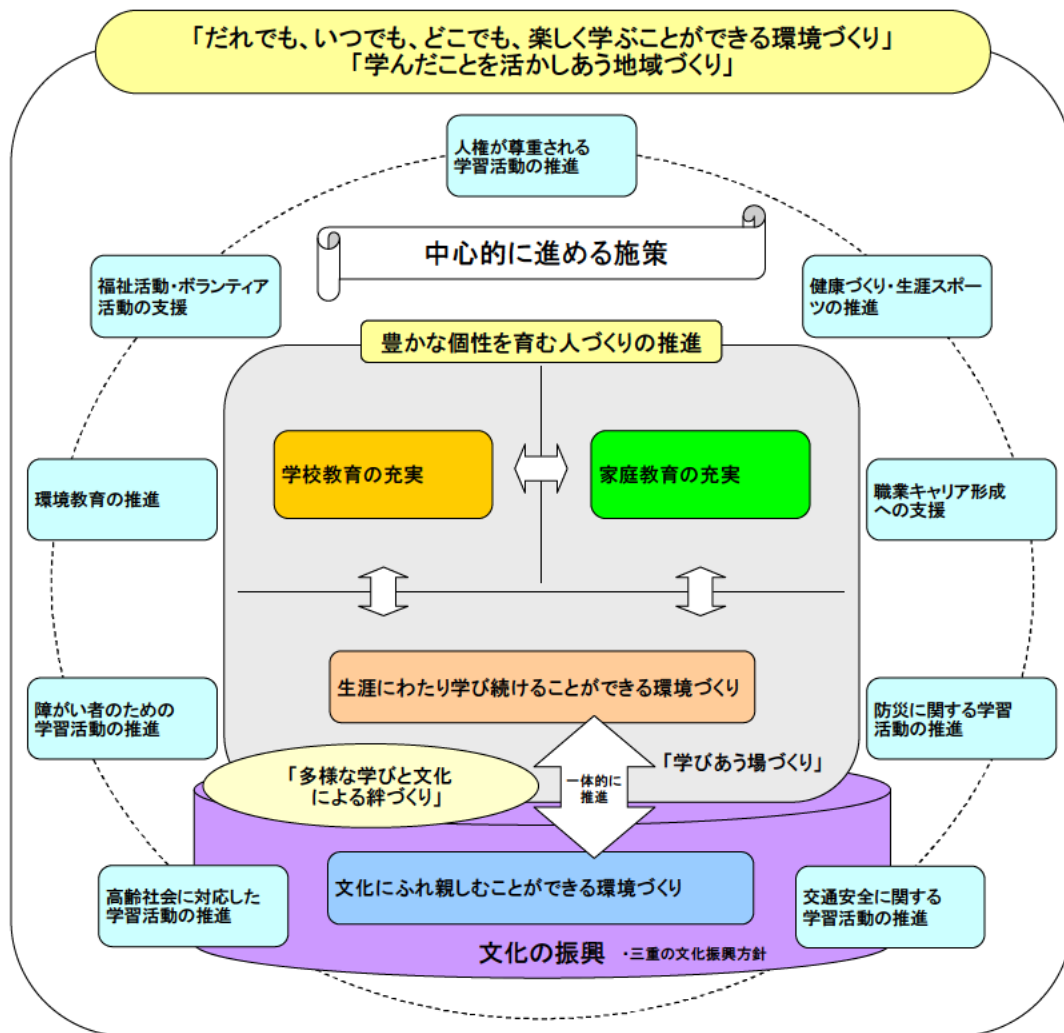
「三重の自然と歴史・文化」育み、みなさんと「ともに考え、活動し成長する博物館」をめざします



県立博物館イメージ図

- *文化と知的探求の拠点： 県立の図書館や博物館、美術館、文化会館など、モノや情報という形で知識や知恵などが集積し、専門性が高く、文化との接点を有し、知的探求を支援する拠点としての性格が強い文化・生涯学習施設のこと。
- *文化交流ゾーン： 新県立博物館の整備を契機として、「県民の学び・体験・交流を支える場」となるよう発展をめざす三重県総合文化センター周辺地域のこと。
- *まちかど博物館： コレクションや伝統の技、手仕事などを仕事場の一角や個人の自宅などで館長の語りとともに見ることができる新しい形の博物館のこと。
- *サイトミュージアム： 齋宮跡の場合は指定面積 137.1ha と広大なため、史跡内各地区の特性に応じて整備・活用するという考え方にに基づき、史跡全体を博物館として位置づけている。

○三重県の生涯学習振興のための施策の展開



多様な施策の事業をつなげて
総合的に展開

人づくり

地域づくり

「文化力」の向上・「新しい時代の公」の推進

「学ばあみえの絆づくり」
学んだことが活かされる「みえの生涯学習社会」の実現

問い合わせ先

三重県生活・文化部文化振興室

〒514-8570 三重県津市広明町 13 番地

電話 059-224-2176 FAX 059-224-2408 電子メール bunka@pref.mie.jp